

ウクライナ避難民等向け日本語学習支援

「ウクライナの人のためのしごとのにほんごサロン」

1期・2期・3期

主催：(公財)横浜市国際交流協会

横浜に滞在するウクライナ避難民が、職場や地域生活において必要とする日本語やコミュニケーションについて学ぶオンライン日本語教室を、3期合わせて29回開催しました。教室の目的は「仕事や日本の生活に必要な日本語、日本人とのコミュニケーションについて学ぶ機会を提供する」「地域の中で生活するために必要なマナーや暮らしの慣習を知る機会とする」「役立つ情報を得たり情報交換することで、より働きやすく、生活しやすくなることを目指す」の3つとしました。職場でのコミュニケーションを想定したクラスでしたが、集まった人の状況や要望に合わせ、日常生活の場面も多く扱って学習を進めていきました。その結果、仕事でのやりとりに限らず、日頃の生活で使える身近な表現を、楽しく学ぶことができました。

毎回、教室開始前の15分間に、文字学習（ひらがな・カタカナ）を行いました。1年が終わる頃には、日本での経験や日本についての知識も増え、ことばを使うことを楽しむ様子がみられました。

また、日本語教師とウクライナ語通訳がペアで教室を担当しました。ウクライナ語を交えたやりとりができることで質問も活発に行き交い、また、参加者が近況や感想を話したりと、参加者同士の「サロン」となっていました。

ウクライナ避難民の方
Для евакуйованих українців

ウクライナの人のためのしごとのにほんごサロン3期
для українців
Салон японської мови для роботи Зперіод

オンラインで、あなたの仕事や生活の「？」を「！」にします。
Онлайн відповіді (!) на ваші питання (?) щодо роботи та побуту.

無料 無料 Безкоштовно

参加者の声

アンケート「この教室で勉強したことで、生活がどのように変わりましたか」への回答
(選択肢から選択・数字は回答数)

- 生活で不自由することが少なくなった (16)
- ゴミ出しなどの住んでいる地域のルールでわかることが増えた (15)
- 生活で不安に思うことが少なくなった (13)
- 日本の文化・習慣でわかることが増えた (13)
- 住んでいる地域の人とのコミュニケーションが増えた (12)

教室名 ウクライナの人のためのしごとのにほんごサロン

講師等 講師： 門脇京子さん（日本語教師）
講師アシスタント兼通訳：河瀬アリョーナさん 廣川ヴァレンチナさん

日時回数 期間中の金曜日 19:00-20:00
1期 2023年5月19日(金)-7月21日(金) 10回
(5/19・26、6/2・9・16・23・30、7/7・14・21)
2期 2023年9月15日(金)-11月24日(金) 10回
(9/15・22・29、10/6・13・20・27 11/10・17・24)
3期 2023年12月15日(金)・22日(金)、
2024年1月12日(金)- 3月1日(金) 9回
(12/15・22、1/12・19・26、2/2・9・16、3/1)

場所 オンライン (Zoom)

対象 ウクライナ避難民で、仕事や生活で使うやさしい日本語を学びたい人

参加者数 1期 14人 (のべ79人) / 2期 18人 (のべ99人)
3期 17人 (のべ98人) ウクライナ49人



よこはま日本語学習支援センター
Yokohama NIHONGO Support Center
https://yokohama-nihongo.com
運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！



「ウクライナの人のためのしごとのほんごサロン」

1期

5/19-7/21
10回

14人が参加しました。

「いろどり 生活の日本語入門」をメインテキストに、簡単な挨拶や教室で使うことばから、丁寧に進めました。聞き返すことや「これは日本語で何ですか?」とたずねること、職場で使える挨拶など、少しずつ言えることを増やしました。

最終回は総復習の回として、習ったことばを確認するゲームや、チーム対抗でのロールプレイの披露など、楽しみながら日本語にふれる時間となりました。

o cy ka re sa ma de shi ta
おつかれさまでした

2期

9/15-11/24
10回

18人が参加しました。

テキスト「いろどり」からは、「好きな食べ物」などのトピックを学びました。日本の食べ物に親しんでいる人も多く、「何にしますか」「うどんにします」など気に入った食べ物の名前もどんどん出てくるようになりました。また、地震への不安があるということで、災害の用語を、毎回少しずつ学びました。

最終回の総復習ゲームでは、町の様子のイラストをみて、日本語で説明することに挑戦しました。

	1つ	xi to cy
	2つ	fu ta cy
	3つ	mi(c)cy
	4つ	yo(c)cy
	5つ	i cy cy

3期

12/15-3/1
9回

17人が参加しました。

学習者のリクエストに応じて、主に健康・病気のことばや場面をとりあげて学習しました。体のことば、症状を伝えるオノマトペ、病院や薬局でのやりとりなどを学びました。自分の経験を話してくれる人もいました。

後半は電話をかける・受けるなどの会話を学び、最後には「病院へ電話をして予約したり症状を伝えることができる」を目標とし、取り組みました。

yo	ya	ku	shi	te
よやくして				
i	ma	su	ka	
いますか。				
У вас є бронь?				



講師等からのメッセージ

●初心者向けのクラスとして通訳付きの授業に加え、テキストにはキリル文字でのルビとウクライナ語訳を付けました。日本語学習へのハードルをできるだけ下げたことで、学習意欲が持続できたと思います。このクラスに参加することが日本語学習以上に心の拠り所となっていた、との感想が印象に残っています。

●1年間で日本語能力が伸びたと思います。単語でなく文で話せるようになってきました。知っていることばが聞きとれたり、仕事場で「おつかれさま」というようになった人もいます。自分が初めて日本に来たときを思い出して、サポートしました。みんなフレンドリーで、仲良くなりました。

●1年間オンラインクラスの通訳のサポートをして、後半では通訳の出番はだいぶ少なくなりました。みなさん、先生の説明や話慣れて、いろんなテーマで日本語の会話ができるようになりました。先生もウクライナ語でデータと翻訳を用意していただいて、とても感動しました。先生、ありがとう！

**よこはま日本語学習支援センター****Yokohama NIHONGO Support Center**<https://yokohama-nihongo.com>

運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！